

令和6年度学校自己評価システムシート (県立春日部高等学校 定時制の課程)

目指す学校像	基礎学力を身に付け、人権尊重の精神を養い、一人ひとりの生徒が生き生きと学び合う学校
--------	---

重点目標	1 個別最適化学習・・・授業の個別最適化を目指して「わかる授業」を実践する。 2 キャリア教育・・・自立した社会人となるように、規範意識と自己管理能力を育成する。 3 安心安全・・・生徒一人ひとりの基本的な生活習慣を身に付けさせ、安心安全な教育環境を確立する。 4 情報発信・・・学校・家庭・地域社会への情報発信を通じて、魅力ある学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 落ち着いた学習環境の中で授業に取り組む生徒が多い一方、学習面で個別の支援が必要とされる生徒が散見される。 【課題】 生徒の学習状況を踏まえ、学力向上と定着に向けた授業実践が必要である。また増加している外国籍生徒への日本語支援も重要である。	○生徒の実態に応じたわかる授業を展開し、興味関心や意欲を喚起する。	○教員間での授業見学や研修等をふまえた授業改善。 ○「総合的な探究の時間」を活用し、自己理解から社会とのつながりへの探究を行う。 ○例年実施している授業アンケートの全科目実施。 ○授業におけるICT(クラス・教科でのGoogleclassroom)活用100%を目指す。	○授業への理解や意欲向上など、学習への取り組み状況が授業アンケート等で改善が図れたか。 ○Googleclassroomの運用状況			
		○外部指導者等との連携を密にして、多様な生徒の実態をふまえて支援していく。	○個別最適化を促進する指導(習熟度別、TTなど)の充実。 ○外部指導者(日本語支援員、学習サポーター)による個に応じた支援の充実。	○生徒の授業に対する取り組み姿勢の変容が、アンケート結果や成績不振科目の減少に反映されたか。			
2	【現状】 これまでも生徒の進路実現に向けて取り組んでいるが、より適切な進路決定に向けた取り組みやサポートが必要。 【課題】 適切な職業観・勤労観を育て、自己実現に向けたより良い進路選択ができるよう指導していく必要がある。特別な支援を必要とする生徒への支援の充実も図る。	○個々の生徒の状況に応じて、自己決定力を身に付けさせ、より良い進路決定に導くよう支援していく。	○進路講演会、ソーシャルスキルトレーニングの実施。 ○「総合的な探究の時間」で社会での在り方生き方を学ぶ。 ○スクールソーシャルワーカー、特別支援教育コーディネーターとの連携。 ○今年度より作成した「進路の手引き」を活用し、4年生の就職希望者の就職率80%以上を目指す。	○希望の進路実現が図れたか。 ○進路未決定者の削減を図れたか。			
		○学校不適応や学業不振による転学、中途退学を減少させる。	○個々の生徒に関する情報共有を緊密に行う。 ○スクールソーシャルワーカー拠点校としての積極的活用と教職員との情報共有。 ○福祉機関との連携を図る。 ○中学校との情報共有・連携	○学業不振による転学等の進路変更、中途退学者が前年度より減少したか。			
3	【現状】 本校には、不登校経験者、高校中途退学者、健康上の要配慮者、外国籍生徒など、さまざまな生徒が在籍しており、個々の実態に応じた指導が必要である。 【課題】 多様な生徒たちが、基本的な生活習慣を身に付け、自律する力をつけて心身ともに安定した高校生活に送れるよう支援する必要がある。	○遅刻、欠席、早退を減らし、出席状況を改善し、登校する生活習慣の確立を図る。	○登下校時の声掛け指導による生徒把握。 ○校内巡回指導による見守り。 ○出席等状況の把握と家庭との連携。	○生徒の登校状況(欠席、遅刻、早退)が改善したか。			
		○中学校、学習支援施設、児童相談所等の各機関との連携を充実させ、本校定時制の魅力を発信していく。	○今年度より新たに2学期から延べ3回学校説明会を行う。 ○個別の学校見学を積極的に受け入れ例年の平均30名を上回るよう実施する。 ○週1回以上の学校ホームページ更新に努め、SNSでの情報発信も検討する。	○本校定時制の教育内容を理解したうえで、志願する生徒が増えたか。			
4	【現状】 本校定時制の「学びなおしの場」としてのイメージ、特色が定着しつつある。 【課題】 本校の教育活動を外部に積極的にPRし、学びなおしを目指す生徒の進路決定先として選ばれる学校づくりを目指す。						

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		